



第129号  
 特定非営利活動法人  
 環境パートナーシップちば

TEL: 090-8116-4633  
 E-mail: info@kanpachiba.com  
<http://kanpachiba.com/>

## 第24回エコメッセ2019 in ちば 開催のご案内 ～みんなで取り組むSDGs～

みなさまのご来場お待ちしております！

NPO環パちば・エコメッセちば実行委員会 桑波田 和子

日時：令和元年10月20日（日）  
 10:00～16:00

会場：幕張メッセ国際会議場2階

参加費：無料

主催：エコメッセちば実行委員会

テーマは、持続可能な社会の実現を目指し、「～みんなで取り組むSDGs～」です。出展者114団体（市民活動団体、学校、企業、行政）の取り組みは、環境・福祉・まちづくり・健康など多様です。ここでは、体験・展示・フォーラム・シンポジウムなど、子どもから大人まで楽しく、学び、交流できるように工夫しています。

また、2020のオリンピック・パラリンピック開催前の年に当たり、エコメッセ会場でも、シンポジウムや体験なども準備しています。

NPO環パちばは、202室で「ちばSDGsフォーラム」を開催します。是非お申し込みください！開催目的は、SDGsの周知と県内外での事例紹介を通して、SDGsへの取り組みを身近なものとしてとらえ、行動へとつなぐことです。

### ■「ちばSDGsフォーラム ～私が取り組むSDGs～」

時間：13:30～15:30 会場：202室

☆講演「SDGsを自分ごと化するための工夫」

講師：石井雅章氏 神田外語大学

☆パネルディスカッション「私が取り組むSDGs」

・海外途上国での環境教育

木村由佳氏 元青年海外協力隊

・ベイタウン・SDGs・クリエイションの活動

遠藤美映氏 合同会社HANA代表

・いすみ市での生物多様性の主流化とSDGs

手塚幸夫氏 房総野生生物研究所  
 コーディネーター：石井 雅章氏

※詳細は <https://kanpachiba.com/> をご覧ください。※ちば環境再生基金を受けて実施

### ■エコメッセ主な出展内容

- ・114 出展団体の活動・目的をSDGs 17の目標ごとにゾーン配置
- ・オリンピック・パラリンピック競技体験（ボッチャ、車いすバスケット、など）
- ・JICA地球ひろば、環境教育ワークショップ、
- ・千葉県環境大使（アルピニスト）野口健氏による、トークショー（千葉県主催）
- ・「第15回JOCスポーツと環境・地球セミナー」主催：（公財）日本オリンピック委員会、共催：千葉県
- ・オール千葉おもてなし隊オピニオンリーダーの鍛冶島 彩さん（アップアップガールズ（2））がメンバーと一緒に来場

### ♥ご協力いただきたいこと♥

- ・フードドライブ（協力：フードバンクちば）  
 家庭で眠っている缶詰やレトルト食品等を会場内特設コーナーにご持参下さい！集まった食品は、子ども食堂や生活困窮家庭に届けられます。
- ・食エコレシピ募集  
 食品ロス削減・省エネにつながるエコレシピを募集しています。エコメッセ会場やホームページでの公開と消費者庁へのレシピ提供により全国発信します。

※詳細は <https://www.ecomesse.com/> をご覧ください。

台風15号により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます

## ESD 地域リーダー育成（第2回）報告

「SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業」の一つである「ESD 地域リーダー育成事業」の第2回（船橋（千葉）会場）が、9月15日に千葉市生涯学習センターで開催されました。

受講生の皆さんには、事前に「宿題」として「ESDの視点を入れた環境学習プログラム（案）」をご提出いただき、当日は、受講生同士で、また、ファシリテーター（石井雅章さん）や昨年度修了生のサポーターのみなさんを交えて、アドバイスをいただいたり補足説明や意見交換をしながら、プログラムのブラッシュアップを行いました。

最初に、ファシリテーターの石井さんから、『ESDの視点を入れた』プログラムのフォーマットへの記入の仕方、留意点などのおさらいがありました。多くの方が、「持続可能な社会づくりの構成概念」や「重視する能力・態度」の項目を考えあぐねていたのですが、石井さんからその部分は最後に考えましょう、と言われて、みなさんほっとしたご様子でした。

この日は、成田会場の方も含めて7名の参加があり、サポーター・スタッフ6名も併せて3グル

ープに分かれて、グループワークを行いました。受講生は里山系、生きもの系、リサイクル系、温暖化系、国際系など、さまざまな分野で活動している方なので、提出されたプログラムも、分野、対象、手法が本当に多様性あふれるものでした。グループワークは熱心に、楽しく盛り上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

最後に全員が、5分間の持ち時間をしょうずに使って、プログラムの中間発表を行いました。それぞれが大変興味深いプログラムで、次回にはどう熟度が上がってくるのか、とても楽しみです。

（文責：小倉 久子）



## 関東ブロック推進員等合同研修会に参加して

千葉県地球温暖化防止活動推進員 広田 由紀江

9月4、5日の2日間、千葉・群馬・栃木・山梨・静岡・埼玉・新潟・八王子・川崎・熊谷の7県3市の温暖化防止活動推進員・各地球温暖化防止活動推進センター職員、合計50人余りが集まり、みなかみ町カルチャーセンターで関東ブロック推進員等合同研修会が行われました。千葉県からは5名（浦安・流山・鎌ヶ谷・大網白里）が参加しました。

（公財）地球環境戦略研究機構の小出瑠氏による講義『暮らしのカーボンフットプリントと低炭素型社会の転換』や川崎市地球温暖化防止活動推進センター 武井斎氏より「二酸化炭素の足跡（カーボンフットプリント）ゲーム」の事例紹介がありました。私たちの生活から出る二酸化炭素量とその内訳、2050年までに減らす目標、どのように減らしていけばいいのかが楽しみながら学べる教材となっていて、とても魅力的でした。その後のWSでは、私たちが実際にカーボンフットプリントを取り入れた「環境教育・学習、普及啓発」ツール案を話し合い、ポスターセッションでは各センターに分かれて取り組みを紹介しあいました。県外はもちろん、同じ県内の推進員であってもの

かなか普段会うことはないので研修を機に交流できたことは、とても良かったです。

宿泊先は、雄大な利根川を見下ろすような場所であったせいか「温暖化防止をすすめる上で、水や生物多様性など環境問題が深くつながり合っていることを忘れてはいけない」という話題も多くなりました。2日目は、みなかみ町役場エコパーク推進課の高田課長より「ユネスコエコパークから考える地域循環共生圏」について話があり、地域の魅力や地域の人の魅力を強く感じ閉会となりました。



## 水文・水資源学会で発表してきました

千葉工業大学津田沼キャンパスで開催された水文・水資源学会 2019 年度研究発表会の、「SDGs、Future Earth 時代の科学と社会の協働のあり方」という特別に設けられたセッションで、NPO 環パちばの桑波田と小倉が、市民代表！として発表してきました。

まず最初は、このセッションをコーディネートなさった千葉大学の近藤昭彦教授の、趣旨説明も兼ねた講演です。印旛沼流域水循環健全化会議、印旛沼流域圏交流会の紹介をしながら、印旛沼ではさまざまなステークホルダーの協働による地域創りから水環境の再生をめざします、とお話いただきました。

二番手として、小倉が「印旛沼・手賀沼流域におけるステークホルダーの協働」について、印旛沼流域水循環健全化会議の「6者連携」、美しい手

賀沼を愛する市民の連合会を例にして、市民（団体）と専門家（研究者）との連携についての想いを話させていただきました。

最後は、桑波田が「市民団体の SDGs 理解への取り組み」と題して、環パちばの紹介、持続可能な社会を目指すことを活動の基本方針に掲げていること、SDGs 理解への取り組みの2つの具体例（エコメッセ in ちば、SDGs を達成するための ESD 地域リーダー担い手育成事業）について話しました。

セッション終了後にいろいろな研究者・学生さんが何人も私たちのところに来てくださり、意見交換をすることができました。私たちのお話したことに興味を持っていただけたことを、とてもうれしく思いました。（文責：小倉 久子）

## 台風15号来襲

NPO 法人南房総エコネット 前川 鎮男

9月8日夕刻、中心気圧 960hPa、最大風速 40m/s、瞬間最大風速 60m/s の台風15号が迫ってきた。雨戸をしっかりと閉め、十分な台風対策をして時を待った。

21 時ころ、台風らしい雨風が吹き始めた。それが次第に強くなり、9日午前0時ごろには電線がピューピュー鳴る音や、ピューピュー、ゴゴゴと吹き付ける雨風が止まない。

1時～3時、それはピークに達し、家がガタガタと揺れるほどの暴風雨が雨戸を叩く。2時に電気が消え、真っ暗になると恐怖心は一段と増した。そのときの私は、ただただ「屋根が飛ばないで…、雨戸が飛ばないで…」と祈るだけだった。

4時になってピークが過ぎて雨風とも弱くなり、ウトウトと眠りについた。朝起きて先ず屋根を見たが無事だった。

当地は水、ガスは大丈夫だったが、停電には困った。電気がないと、ご飯は炊けない、洗濯はできない、冷蔵庫は使えない、テレビが見れない、電話が使えない、スマホの充電ができない、…

一番困ったのはパソコンが使えないこと、何一つできなくなってしまった。

暗闇の中で為すこともできず一人していると、気持ちが悪くなり、滅入っていった。それを救ってくれたのは次々と心配してスマホに掛かってくるメールや電話だった。「一人じゃない、皆が応援してくれている」と感じて気持ちを強く持てた。

13日夜(5日目)には電気が復旧し、次第に平常の生活に戻った。幸いなことに我が家は大した被害もなく済んだが、近隣では屋根が飛ばされたり、窓ガラスが割れて室内が水浸しになったり、…大変な惨状である。また、未だ電気や水に不自由されている方が多くおられることに心が痛む。

これまでの台風は日本に近づくにつれて弱まっていたが、今回は太平洋、日本近海の海水温の上昇で次第に強まりながら上陸した。そして進路の東側だったために大きな被害になったと思われる。地球温暖化が進む今日、バハマを襲ったハリケーン(風速 80m/s)のような台風の日本上陸も近い？



←道路を塞ぐ  
電柱

ブルーシート →  
で覆われた  
被災家屋



千葉市公民館講座

## ～牛乳パックでカラフルうちわ作り～

8月5日（月）、千葉市中央区の生浜公民館で、夏休みの小学生向け講座「牛乳パックを使用したカラフルうちわ作り」を開催しました。

当日は、小学3年生から6年生までの20名が参加してくれましたが、その中には、今年の夏休みに同公民館で行われた「ふりふり石けんづくり」にも参加してくれた子どもたちの顔も！館長さんいわく、本講座はあっという間に定員オーバーになるくらい大人気だったとのこと。ちなみに当日は、参加した児童のほとんどが通う小学校の校長先生も見学に来てくださいました（小学校は公民館の目の前です）。

はじめに、牛乳パックを使う意味や紙のリサイクルについて理解を深めてもらうため簡単な説明をし、その後、講師が作り方のお手本を見せてから、みんなでうちわ作りに取りかかりました。あらかじめ煮てきた牛乳パックからラミネートを剥がして中の紙を取り出し、それをビリビリに破き（破り方にも個性が出て、なかなか面白かったです）、水とともにミキサーに入れてドロドロにしたものをザルでこしてパルプを取り出します。

それを小さな団子状にし、ペットボトルに入れて数秒間振りまぜた後、好きな色のお花紙を入れ

てさらに軽く攪拌して色を着けます。それを型枠の上に置いたうちわの骨組みの部分に流し入れ、形を整えた後、持ち帰って乾かしたら、世界にひとつしかないMyうちわの完成です。

うちわ作りは二人一組になって協力し合いながらの作業でしたが、それぞれチームワークよく、色とりどりのうちわが完成しました。夏の間、フル活用してくれていたらうれしい限りです。

（文責：荒川 薫）



千葉市公民館講座

## ～ダンボール工作～

猛暑が続く8月9日（金）、千葉市稲毛区千草台公民館で環境講座『ダンボール工作』を行いました。小学生15人とお母さん6人が参加してくださいました。NPO環パちばからは3名が担当しました。

工作はあらかじめ切り取り線を書いたダンボール紙を配り、はさみで切ってから、木工用ボンドで貼り合わせて完成します。恐竜のティラノザウルス、トリケラトプス、ゾウさんのなかから好きなもの一つを選んで作ってもらいました。まず、大まかにパーツを切り、そのあと細かく切るとやりやすいこと、線のぎりぎりに切るより、少し余裕をもって切ることがポイントです。できあがった作品にはカラーペンやシールを使ってさまざまなデコレーションをして完成です。

工作終了後、工作からで出た切りくずなど同じものを集めることで、資源としてリサイクルできることを説明しました。昔のごみ収集袋は大きな紙袋が使われ、次に中身の見えない黒いポリ袋になりましたが分別せずにごみが捨てられていました。そしてごみの種類で分別する今のポリ袋に変

わっていったことを実物で示し、今の収集袋の中身が見えるのは、燃えるごみ・燃えないごみをきちんと分別するためということを知ってもらいました。何も考えずにごみを出すのではなく、種類や素材で分別してまとめて出すと処理がしやすく、リサイクル（再資源化）やリユース（再使用）することができます。千葉市ではごみの捨て方として決められたルールがあることを確認して講座を終了しました。

講座終了後、受講生からは1枚のダンボールから恐竜や象が出来上がり楽しかった等の感想をいただきました。事前打ち合わせや準備、当日の心のこもった対応をしてくださった公民館職員の方にお礼を申し上げます。（文責：川島 謙治）



千葉市公民館講座 **リサイクル工作「裂き織でコースター作り」**

8月22日木曜日の午前中、千葉市の緑が丘公民館で小学生6名を対象に「裂き織でコースター作り」と題したリサイクル工作の講座を行いました。

この講座では、まず布は織りと編みに大別できること、布の素材である麻や綿、動物の毛など、昔は入手が容易なものではなく、糸状にして織り、または編み、衣類や手ぬぐい、布団など生活必需品として形作るという大変な工程を経て物作りをしていた、昔の人は、使って破れたりもろくなっても、縫い合わせたりあて布を当てたり、裂いてひも状にして何か別の物に作り替えたり、最後は火にくべて燃料として使い切った、ということをお話しました。

「布」は太古の昔から人間と長い付き合いがあり、生活に欠かすことのできない貴重なものであるにもかかわらず、普段は「空気」のように当たり前のもの、その存在をほとんど意識もしませんが、この講座ではそんな「布」をモチーフに、古くなったハンカチやバンダナを裂いてひも状にし、織物にします。

段ボールで作った簡易な織り機を使います。段ボールを利用するのも、リサイクル工作ならではです。段ボールはリサイクルの優等生、90%以上

が再資源化されています。こん包材として脇役の地味な段ボールを利用するのも、このプログラムのポイントです。

小学生の子供たちにとって機織りは、根気と細かい気配りのいる「手仕事」です。裂くハンカチも素材に合わせて各自工夫が必要です。また、織の張り具合も指先の加減や工夫が必要です。さまざまな要素が織り込まれたプログラムになっています。講座スタッフは子供たちとのおしゃべりを楽しみながら適宜サポートをし、そして穏やかな楽しい時間をともに過ごすことができました。

(文責：中村 明子)



## 印旛沼クリーン大作戦@神崎川

千葉県立中央博物館共同研究員 横林庸介

2019年8月8日(木)～10(土)の3日間にわたり、IVUSA (NPO 法人国際ボランティア学生協会) 主催・印旛沼流域水循環健全化会議共催で印旛沼クリーン大作戦(神崎川流域のナガエツルノゲイトウ駆除)が行われた。これは、大和田排水機場の治水リスク軽減を目的とし、徹底的な駆除と地域協働のきっかけづくりをテーマにした活動で、私は2日目の8月9日に参加した。その際の報告と感想を述べたい。

武西集合所において開会式が行われ、そのあと現場に向かった。作業は水中作業と岸辺の運搬作業に分かれ、河岸にブルーシートを張り、水中作業で運ばれたナガエツルノゲイトウの浮島(群落)をブルーシートの上に引き上げ、トンパックに詰め込み、土手に待機する運搬車に運ぶ。

岸辺に寄せたナガエツルノゲイトウを引き上げる。8月の太陽がぎらぎらと容赦なく照りつける土手際の作業。せーの、せーの、炎天の川面に響く若者たちの掛け声。素晴らしき者たち。この

掛け声を聞いていると、胸が熱くなってくる。若い力に感動。近頃、お笑いか女の子と可愛さを競っている若者たちばかりに失望していたが、彼らにまだまだ日本の将来は大丈夫と教えられた。

作業終了後の夕方からは、バーベキュー交流会でお互いの親睦を図った。地元の農家さん、市民団体、地元の大学生もたくさん参加してくれて、あちこちで楽しそうに盛り上がっていた。

最終日の夕方に行われた反省会・勉強会で、3日間で駆除したナガエツルノゲイトウが約9トンであった、と発表された。神崎川でのクリーン大作戦は4年目になるが、駆除量がだいぶ少なくなった。それだけ繁茂域が減少したということで、ひとえにIVUSAの活動のおかげである。



# オール千葉おもてなしアクション!

千葉県商工労働部観光企画課 オール千葉おもてなし推進班

千葉県では、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、国内外から訪れるお客様に「千葉に来てよかった」「また来たい」と心から思っただけのように、快適で安心な観光地づくりや魅力の発信、ボランティアとの連携などに取り組んでいます。

これらの取組を、「思いやり」、「スマイル」、「クリーン」を合言葉に、皆さまとともに展開するプロジェクトが「オール千葉おもてなしアクション!」です。“おもてなし”の形は一つではありません。さまざまな主体が行う、清掃活動や植栽等の環境美化、笑顔でのあいさつ、サービスやマナー向上、安心・安全の提供等、あらゆる活動が、来県する方にとっての「おもてなし」に繋がっていることを共感していただくことで、オール千葉でのおもてなしの輪を広げたいと考えています。

このアクション!の一環として、おもてなし機運の醸成を更に図るため、「おもてなし」について考え・実践するキャンペーンを、昨年度に引き続き実施する予定です。参加事業者の皆さま

には、「おもてなしのぼり」の掲出のほか、期間中に職場で取り組む“私たちのおもてなし”を提案いただき、その取組をポスターに記入・掲示し、実践していただくことにより、おもてなしについて再確認していただきたいと考えておりますので、実施の際には御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、県民の皆さまには、あらゆる機会をとらえ、それぞれができる「おもてなし」について考えていただくきっかけづくりを行うこととしており、10月20日(日)に幕張メッセで開催される「エコメッセ2019 in ちば」でも、おもてなしに関する取組をPRします。

オール千葉でのおもてなしには、様々な分野の皆さまに取組の趣旨を御理解いただくことが必要です。業種は問いません、ぜひ、本取組への御理解と積極的な御参加をお待ちしております。



お問い合わせ先

043-223-3492

## 東京湾大感謝祭 2019 /

### 第17回印旛沼流域環境・体験フェア

#### 【東京湾大感謝祭 2019】

東京湾大感謝祭は、東京湾再生官民連携フォーラムのプロジェクト活動の一つとして、都市に住む市民や企業、団体と国や自治体がともに、海の再生を考え、行動するきっかけを提供する場として、2013年秋に初開催されました。2019年からは、「海にいいこと、やさしいこと、はじめよう!」をテーマに沿岸住民3,000万人との世界共通の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、企業・団体・行政・市民の皆様の「SDGs」の発表や交流の場として開催いたします。2030年の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、ぜひ、ご参加・来場ください。

#### 【プレイベント】

2019年10月17日(木)、19日(土)~20日(日) /会場: 大さん橋ホール

#### 【メインイベント】

2019年10月26日(土)~27日(日) /会場: 横浜赤レンガ倉庫・周辺海上

#### 【第20回東京湾シンポジウム】

10月17日(木) 大さん橋ホール

参加費無料(一部のイベントは要申込み)

詳細は公式HP (<https://tbsaisei.com/fes/>) をご覧ください。

#### 【第17回印旛沼流域環境・体験フェア】

『まるごと いんばぬま』

~水と食と発見のある印旛沼~

日時: 10月26日(土) 11:00~15:00

27日(日) 10:00~14:00

会場: 佐倉ふるさと広場向かいの特設会場

(京成佐倉駅北口から無料シャトルバスを運転)

☆楽しい体験型ブース・ステージイベントが盛りだくさん!

★いんばぬまクイズ(26日)で、素敵な賞品をゲット!

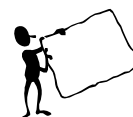
☆NPO 環パちばは、魚釣りゲーム、その他を出展します。手づくりの「魚たち」を釣って、印旛沼の魚について学ぼう。

★詳細は、いんばぬま情報広場

(<http://inba-numa.com/fair17/>

kanrenevent17/) をご覧ください。

県内の環境保全活動人（団体）紹介 — 52 —  
おききました！ この人・この団体



## メジカラネットの紹介

メジカラネット代表理事 奥山 淳梓

目が弱ってお困りではありませんか？  
メジカラネット がお役に立つかもしれません

眼科で指摘を受けた / 視覚障がい者の同行  
援護などの相談を受けられない / 目の不自  
由さを補う方法はないか、知りたい / 周りに  
相談できる人がいない

メジカラネットは、こんなことをしていきます  
例えば・・・

- \* PC、スマホなど、色々な機能がどこまで便利  
に使えるか、試してみます
- \* 駅や街の中で、助けを求める仕組みを、使う側  
の立場から考え、企業や行政、地域に提案してい  
きます。

### ①メジカラサロンの開催

目が弱ってきた方や支援者の交流の場として「メ  
ジカラサロン」を開催

千葉市市民活動支援センター、千葉市社会福祉協  
議会中央区事務所活動室などで、PC、スマホの操  
作や便利な使い方体験交流、健康体操や香り、音  
楽、朗読などを楽しんだり、困りごとや、楽しい  
ことを自由に話す茶話会を開いています。

②目の不自由な人をサポートしたい方に情報提供  
街中で、駅などで困っている様子の人を見かけた  
とき、どのように声を掛けたらいいのか？ためら  
ってしまいます。より多くの方に、目の不自由な  
人の誘導の仕方についてのガイドブックを制作し  
実習も行っていきます。千葉市観光推進課が進める  
街中ボランティア養成講座に協力しつつさらに一  
般の肩にも広がっていきます。



目の不自由な方 サポートボランティア  
希望の方 大募集！

<これからの活動予定>

詳細はHP をご参照下さい。

- ①エコメッセちば2019に出展します。  
設立一周年を記念して、・目の弱ってきた方、一般  
の親子で体験！ スマホ、iPhone でこんなに便  
利！音声操作で広がる体験オープンサロン  
・親子で体験！目の弱ってきた人の歩くときの  
ガイドを体験しよう！  
・子供向けエコメッセ体験パーク  
「白い杖を使ってみて誘導してみてね！」

②千葉市市民活動フェスタに参加し体験相談会を  
開きます。

連絡先：043-307-3730

代表：奥山 淳梓

携帯電話：090-7732-8948

メールアドレス：support@mejikara.net

ホームページ：https://mejikara.net



目の弱った人に優しくなる  
誘導體験



# 運営委員会報告

## 8月運営委員会

日時 8月8日(木) 15:00~18:00

場所 船橋市民活動センター

### 【報告】

- ・SDGs達成のためのESD担い手育成事業 (ESD地域リーダー育成事業) 7/14・22
- ・いちば環境フェスタ出展申し込み 9/21
- ・エコメッセ2019inちば出展 10/20
- ・神崎川ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦 8/9
- ・その他

### 【協議】

- ・エコメッセちば出展内容
- ・SDGsフォーラム開催 10/20
- ・ホームページコンテンツ構成について
- ・印旛沼環境フェア 10/26・27
- ・いちば環境フェスタ 9/21 ・だより129号
- ・Eポート千葉大会 10/13 ・その他

## 9月運営委員会

日時 9月13日(木) 15:00~18:00

場所 船橋市民活動センター

### 【報告】

- ・SDGs達成のためのESD担い手育成事業
- ・千葉市公民館講座 8/9 21名 8/22 8名
- ・会員数 正会員42 一般会員13
- ・ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦 9/6
- ・水文・水資源学会 9/12

### 【協議】

- ・SDGs達成のためのESD担い手育成事業 9/15 千葉市生涯学習センター 9/30 成田商工会議所
- ・基金助成活動中間コンサルテーション 9/27
- ・プラットホームづくりワークショップ 10/7
- ・エコメッセちば出展内容
- ・ちばSDGsフォーラム 10/20
- ・地域ESD活動拠点地域意見交換会 9/23 新潟
- ・理事会 11/2 ・その他

## お知らせ

SDGs達成のためのESD担い手育成事業

### 第2回 SDGs 公開セミナー

～SDGsを自分事に取り組む～

SDGsの周知とSDGsに取り組む事例(NPO・企業・行政)をお聞きして、自分事に取り組むヒントを探します。

日時: 11月16日(土) 13:30~15:30

会場: 千葉市生涯学習センター 小ホール

主催: (特非) 環境パートナーシップちば

募集: 80名 参加費: 無料

参加申込: メール申込(当日も可)

e-mail: info@kanpachiba.com

申込締切日: 11月6日(水)

参加対象: SDGsに関心のある人

※地球環境基金事業

シンポジウム

### 「利根川の水が首都圏を支えるPART II」

～2020東京オリンピック・パラリンピックも～

開催日: 11月29日(土)・30日(日)

29日シンポジウム 13:30~17:00

中央工学校 21号館 STEP

(東京都北区王子本町 26-17)

30日見学会 9:00~13:00

東京都水道歴史館、隅田川・荒川等

シンポジウムの主な内容

- ①講演・話題提供: 国道交通省関東地方整備局、独立行政法人水資源機構、他

- ②意見交換

参加費: 無料

申し込み・問い合わせ

NPO法人 利根川流域交流会 事務局

ito-90@mrh.biglobe.ne.jp

## 「特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば」

環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的とする。

## お問い合わせ

事務局: 〒262-0006 千葉市花見川区横戸台 21-13 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

Tel: 090-8116-4633

E-mail: info@kanpachiba.com

http://kanpachiba.com/

※会費や会員申し込みなどの情報は上記 HPでご確認ください。